

ひょうぶこ企業探訪 ④

2021 学生が聞く

アプリ通じた接客に挑戦

バレエシューズ「ファルファール」を筆頭に女性向けのファッションブランドを展開する中堅アパレル。新たな素材や販売方法を取り入れ、環境保全にも目を向ける。沼部美由紀社長を甲南大学の奥野明子教授のゼミ生が訪ねた。

—どんな商品を扱う。

「8年前、バレエシューズのブランドを立ち上げました。当時、日本人の足に合うものは少なく、デザインと履き心地を両立させて大ヒットしました。現在は、売り上げの50%を占める主力商品です。昨年からは中敷きに形状記憶素材を使うことで、自分の足裏に合う形になるパンプスを販売しています。丈の長さを選べる『神戸・山の手スカート』も人気です」

—コロナ禍の影響は。

「百貨店など商業施設で

クロシェホールディングス(神戸市中央区) 沼部美由紀社長(51)



クロシェホールディングスの沼部美由紀社長(左)を訪ねた甲南大3年の神吉華子さん
—いずれも神戸市中央区元町通5

のビジネスが多く、一時閉鎖獲得しています。店舗は実鎖などで売り上げが減少し、実際の商品に触れてもらうシマールーム的な要素が強く、一方、電子商取引(EC)では新しい顧客を

メモ
1996年に前身の会社を設立。従業員約80人。2021年1月期の売上高は約8億円。全国に8店舗。新卒・中途を問わず通年採用し、来年は若干名を予定。神戸市中央区元町通5の8の15。☎078・382・4012

クロシェホールディングス本社



—今後の戦略は。

「写真投稿アプリでライブ型の接客を始めました。製品を手にした販売員がそれぞれのやり方で特長などを紹介し、視聴者からの質問に答えます。9月からは



実績に応じて、販売員の給与に反映させています。オンラインのファンが、店員に会いに来てくれる循環をつくりたいですね」

—環境の持続可能性への配慮も打ち出す。

「アパレル業界は、大量生産・大量廃棄が問題になっていますが、本当に顧客に必要なものだけを手掛けたい。受注販売を増やそうと試行錯誤しています」

—求める人材は。

「好奇心があり、どんな環境でも人生を楽しめる人。自分の言葉で考えることとは大事だと思います」(まとめ・塩津あかね)